

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

環境生活総務課長 吾郷 朋之

電話番号

0852-22-5778

事務事業の名称	環境保全功労者知事感謝状贈呈事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	環境保全活動の意欲を高め、活動の裾野を広げる。
事業概要	環境保全（自然環境の保全、快適環境の形成）に関し特に顕著な功績のあった者に対し、その功績をたたえ感謝するため知事感謝状を贈呈する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 贈呈者数	目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	人
	式・定義 過去4年間（H23～26）の平均受賞者数（8件）以上の推薦者数	取組目標値						
		実績値	9.0	8.0	7.0			
		達成率	112.5	100.0	87.5	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	35	74
うち一般財源 (千円)	35	74

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成30年度は7件（個人2、団体5）の推薦があり、審査の結果、6件を被贈呈者とし、贈呈式を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

多年にわたり地域で地道に環境保全活動に取り組まれている方々の掘り起こしができ、感謝状を贈呈することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

推薦する市町村が偏っている傾向があり、被推薦者数も多いとは言えない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・推薦照会先団体の固定化、照会手法の固定化。
- ・定期的に行っているため、目新しさなく、普及啓発に十分つながっていない。

③原因を解消するための「課題」

環境保全活動に取り組む事例を紹介することで、県民の環境保全に関する意識の高揚及び取組みの促進につながる事業とすることが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

照会先及び手法の再検討、効果的なPR手法の検討を行う。